



# INSTRUCTIONS (取扱要領書)

-J05875

2016-08-22

## フロント12V電源ポート

### 概要

このキットの取付けは、認定を受けたハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にて行うことをお勧めします。

### キット番号

69200854、69200855、69200970、69200971、69201599

### モデル

モデルの備品に関する情報は、最新の純正P&Aカタログをご参照ください。または、最寄りのハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

### 取り付け要件

2017年以降のTouringモデル: アクセサリーワイヤーハーネスキット(部品番号69201599)。

このキットを適切に取り付けるには、UltratorchUT-100(部品番号HD-39969)、RobinairHeatGun(Robinairヒートガン)(部品番号HD-25070)とHeatshrinkAttachment(ヒートシュリンクアタッチメント)(部品番号HD-41183)、またはその他の適切なヒートガンが必要です。

#### ▲警告

ライダーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行う事が難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負う恐れがあります。(00333a)

#### 注記

この取扱要領書は、サービスマニュアルの記載情報の参照を必要としています。取り付け時には、車両の年/モデルのサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

### 電氣的過負荷

#### ▲警告

ライダーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。自分で作業を行う事が難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負う恐れがあります。(00308a)

#### ご注意

電気アクセサリを装着し過ぎると、車体の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気アクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気システムに損傷を与えるおそれがあります。追加するアクセサリの消費電力、あるいはそれに伴って必要となる電気システムの変更については、ハーレーダビッドソン ジャパン正規販売網店にご相談ください。(00211c)

### キット内容

図3および表2を参照してください。

### 取り付け

#### ▲警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡事故や重大な人身事故を引き起こす恐れがあるため、メインヒューズを外して作業を開始してください。(00251b)

1. メインヒューズを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. フューエルタンクを取り外す。サービスマニュアルを参照してください。

#### 注記

ハーレーダビッドソンは、フロント12V電源ポートを、左側ハンドルバーのライザークランプの横に取り付けることを推奨しています。開口部は、後方を向くように作られています。

3. シートを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
4. ハンドルバーの取り付け部分を清掃し、乾かします。
5. 図3および表2を参照してください。
  - a. 22 mm (7/8 in.)ハンドルバーの場合、厚いパッド(5)を取り付けます。
  - b. 25.4 mm (1 in.)ハンドルバーの場合、薄いパッド(4)を取り付けます。
  - c. 32 mm (1-1/4 in.)ハンドルバーの場合、キット付属のパッドを使用します。
6. 「図1」を参照してください。ガスケット(2)の裏紙(1)を剥がします。ガスケットを12V電源ポート(3)の内側に取り付けます。

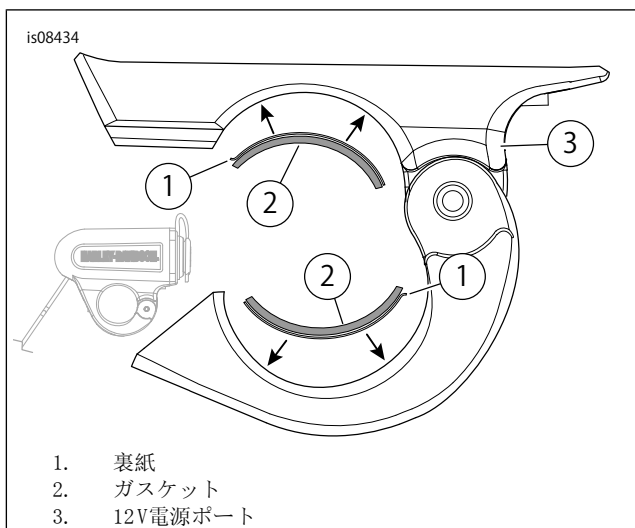


図1。裏紙、ガスケットおよび12V電源ポート

7. 「図3」を参照してください。電源ポートを好みの位置に置きます。スクリュー(2)を所定位置にはめます。まだ完全に締めないでください。

**警告**

ステアリングのスムーズな動きを妨げるものがないことを確認します。ステアリングに干渉があるとバイクを操作できなくなり、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。(00371a)

8. スクリューで12 Vポートを固定します。スクリュー(2)を次のトルク値で締め付けます: 2.8-3.3 N·m (25-30 in·lbs)。
9. 「表1」および「図2」を参照してください。アクセサリコネクターの位置を確認してください。

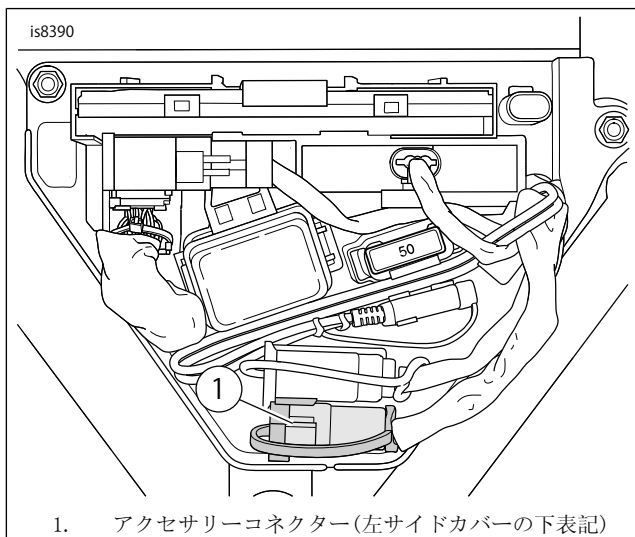


図2。アクセサリコネクタ

10. ワイヤーを、メインハーネスバスからターミナルボックスへ取り回します。

**注記**

- 熱をフューエルシステムコンポーネントに近づけないでください。過度の熱によりフューエルが発火/爆発するおそれがあります。死亡事故や重大な人身事故につながる場合があります。

- ヒートシュリンク作業が行われているコネクタ以外の電気システムコンポーネントに熱を近づけないでください。
- ツールチップ部分とヒートシュリンクアタッチメントへは手を触れないでください。

11. ハーネスに十分にたるみがあり、ハンドルバーが左右いっぱいまで動かか確認してください。

**警告**

UltraTorchUT-100または他の放射加熱装置を使用する際は、メーカーの指示に従ってください。メーカーの指示に従わないと発火の危険があり、死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00335a)

12. 2017年以降のTouringモデル:ハーネス(69201599)を取り付けます。キットに含まれる手順を参照してください。

- 「図3」を参照してください。6ピンコネクタ(A)を切断します。
- ハーネス(B)の各ワイヤーから絶縁体を9.5mm(.375 in)剥がします。
- ハーネス(69201599)をキットに含まれるシールドスプライスに接合します。
- ワイヤーの黒を黒に、赤を紫/青に圧着します。サービスマニュアルの付録を参照してください。コネクタの色とクリンプツール(部品番号:H-D38125-8)の圧着穴の色を合わせます。クリンプツールを使って、コネクタを両方のワイヤーに圧着します。
- UltratorchUT-100(H-D39969)、RobinairHeatGun(Robinairヒートガン)(H-D 25070)(Heatshrink Attachment(ヒートシュリンクアタッチメント)(H-D 41183)を併用)、その他の適切な放射加熱装置のいずれかを使って、圧着した接合部に熱を当ててスプライスコネクションを密閉します。コネクタの両端から密閉剤が融解して流出するまで、圧着部の中心から各末端に向かって熱を加えてください。コネクタを自然に冷やします。

13. その他の全モデル:「図3」を参照してください。アクセサリコネクタからダストカバーを取り外します。12Vコネクタを6ピンコネクタ(A)に差し込みます。

14. ケーブルストラップ(3)でハーネス(B)を固定します。余分なハーネス(B)は巻いて、ケーブルストラップで固定します。

15. サイドカバーを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。

16. フューエルタンクを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

**注記**

メインヒューズを取り付ける前に、イグニッションスイッチがオフ(OFF)になっていることを確認します。

17. シートを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。

注記

アクセサリ回路は15A回路です。この電源で使用するアクセサリの定格をチェックしてください。15アンペアを超えないようにしてください。

18. メインヒューズを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

表1。交換用パーツ:アクセサリコネクターの位置

プラットフォーム(モデル)	アクセサリコネクターの位置
Street	右サイドカバー下
Sportster	左サイドカバーの下
ソフテイル	左サイドカバーの下
ダイナ	シートの下
ツーリング	左サイドカバーの下
Trike	左サイドカバーの下

交換用パーツ

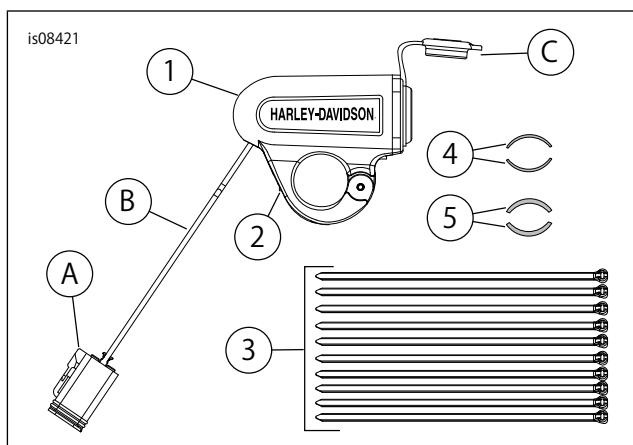


図3。交換用パーツ:ハンドルバー12V電源供給

表2。交換用パーツ:フロント12V電源ポート

項目	詳細(数量)	部品番号
1	12V電源ポート、ハンドルバー取り付け	別売りなし
2	スクリュー	別売りなし
3	ケーブルストラップ(10)	10065
4	薄いガスケット、粘着テープ(2)	別売りなし
5	厚いガスケット、粘着テープ(2)	別売りなし
キットには含まれない本文中記載のアイテム:		
A	6ピンコネクタ	
B	ハーネス、電源ポート	
C	ソケットカバー	